

令和7年6月28日に開催された第4回「みんなで考える防災まちづくり」の内容について

令和7年6月28日（土）に「第4回 みんなで考える防災まちづくり」を開催し、住民の皆様他、茨城大学等の学生を含めた関係者19名の方にご参加いただき、堀割・五反田周辺地区に係る跡地利用等についての意見を頂きました。

「移転元地の利活用事例についての講演会」と、「跡地利用の実現に向けた取り組みを考えるワークショップ」の2部制で行いました。

ワークショップでは大洗町の地図を活用し、町の歴史や文化を振り返りながら皆さんの思いを地図に書き写して、今後の移転元地の土地利用について話し合いました。

【ワークショップの内容】

- ・歴史を辿りながらゆっくり川下りをする。
- ・花畑を作る。
- ・アスターの花を植える（お供え用の花として売る）
- ・空き地になったらヤギを飼って草を食べてもらう。
- ・しじみ汁を提供する。
- ・空き地は駐車場にして船乗り場にする。
- ・船でアクアワールドなどの観光地まで行けるようにし、渋滞緩和を図る。
- ・備前堀を作る
- ・川沿いにサイクリング兼用の遊歩道を作る など



講演をする兵庫県立大澤田准教授



ワークショップの様子

次回の第5回「みんなで考える防災まちづくり」は9月頃を予定しています。

今後も意見交換会等を重ねながら様々な意見、具体案をもとに防災集団移転後の土地利用について調査や関係者との協議を進めていきます。

裏面に続く

令和 6 年度 全建賞を受賞しました！

【令和 6 年度 全建賞受賞】

令和 7 年 6 月 27 日、「令和 6 年度 全建賞」の表彰式が都内で開催され、「堀割・五反田周辺地区 防災集団移転促進事業」が、全建賞（異なる部門の事業が連携した取り組みの部（部門連携の部））を受賞しました。

この事業は令和元年に発生した東日本台風の被害を受け、具体的な移転手法が未確定の中、地域住民の理解と協力のもとに、国（河川管理者）や大洗町などの関係機関が連携して取り組み、事前防災としては全国初となる「市街地における差し込み型による防災集団移転」という具体的な移転手法を策定することができました。

この取り組みは、地域の特性やニーズに応じた実効性の高い手法を追求し、防災まちづくりの新しいモデルケースとなった点が高く評価されています。

「全建賞」は、一般社団法人全日本建設技術協会（略称：全建）が主催し、良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進することを目的として、昭和 28 年（1953 年）に創設された歴史と伝統ある賞です。日本の社会経済活動を支える重要なインフラ整備や、その時代ごとの国民ニーズに応じた取り組みが表彰されており、今回で 72 回目を迎えます。

今年度は、国、都道府県、市町村などの機関から 263 事業の応募があり、そのうち 77 事業が「令和 6 年度 全建賞」として選ばれました。この賞は、地域社会の発展や技術革新に寄与する事業を広く認知する重要な機会となっています。



表彰状、盾



表彰される大洗町の國井豊町長、国土交通省常陸河川国道事務所の佐近所長

■お問い合わせ先■

大洗町役場 都市建設課 都市施設係

電話番号:029-267-5156 FAX:029-266-3577

Mail : toshiken@town.oarai.lg.jp